

こんなことができます!

地球温暖化の 影響評価・対策の 立案をお手伝い します



夢

グローバルとローカルの
両方の視点を持った人材の
育成

共生システム理工学類

吉田 龍平

YOSHIDA Ryuhei

准教授 博士(理学)

専門分野

気象学、農学
(地表面に近い大気、農業気象)

特許情報、著書、論文

Adaptation of rice to climate
change through a cultivar-based
simulation: a possible cultivar
shift in eastern Japan (2015)



1. 進行する地球温暖化の日本への影響
数値シミュレーションを用いて、短時間強雨や無降水日、最高気温といった身近な気象が将来どう変わっていくのか、またその要因は何かについて解析しています。
2. 安定した食糧生産に向けた適応策の検討
上記で得られた気候データを用いて、将来のコメの収量予測やとりうる対策を調べています。
3. シベリアの地表面改変と気候の変化
永久凍土が解け、一部では湖が広がりとつある東シベリアを対象に、近年の気候の変化を解析しています。

想定するパートナー

県や市町村、各地の農業試験場

具体的な連携、事業化のイメージ

地球温暖化の地域スケールでの影響評価

これまでの取組事例

2014年度まで文部科学省 気候変動適応研究推進プログラムに参画し、東北を対象に温暖化の影響評価を進めてきました。大学・研究所のほか、東北各県の農業試験場との議論を通して、温暖化のコメ生産への影響をまとめました(特許情報、著書、論文参照)。

教育
学習支援
健康
福祉
防災
都市計画
地域
産業振興
食・農

経営支援

ファイナンス

人材育成

法律

ライフ
サイエンス

情報通信

環境

ナノテク
材料

エネルギー

ものづくり
技術

社会基盤

フロンティア

